

日本LD学会 第27回大会(新潟)
自主シンポジウムJ11

UDL(学びのユニバーサルデザイン)は 何を変えるのか

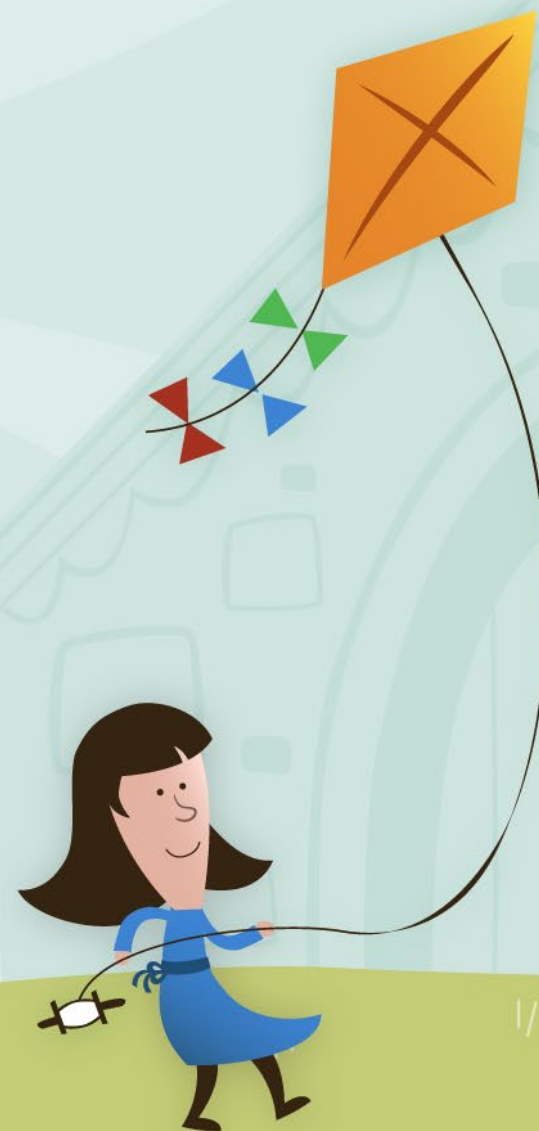
企画・司会：金子晴恵（アンダンテ西荻教育研究所）

話題提供：有澤直人（東京都江戸川区立本一色小学校）

齊藤勝（平成帝京大学）

浦野裕司（東京都杉並区立桃井第三小学校）

指定討論：川俣智路（北海道教育大学）



資料は、こちらのURLからダウンロードできます。

⚠ データ通信料にご注意ください！



UDL情報センターブログ

<http://udl-japan.seesaa.net/>



Wi-Fiつな
がってる？





UDL情報センターHP

<http://www.andante-nishiogi.com/udl/>



UDL研究会Facebook

<https://www.facebook.com/udljapanese/>



動画で川俣先生の
「1から学ぶUDL」が
見られるよ

 データ通信料ご注意！

UDLの詳細は、HPおよびFacebookも併せてごらんください。

さらに・・・！

このあと 15時30分より 第1会場にて
Katie Novak先生の特別講演が予定されています。



UDLとは？

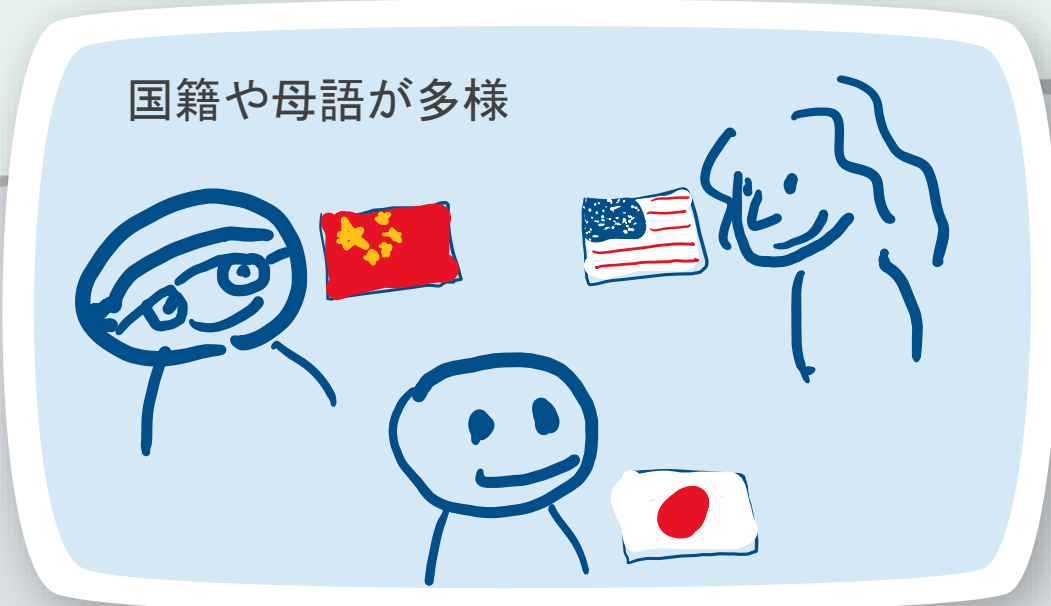
ざっくりいうと・・・

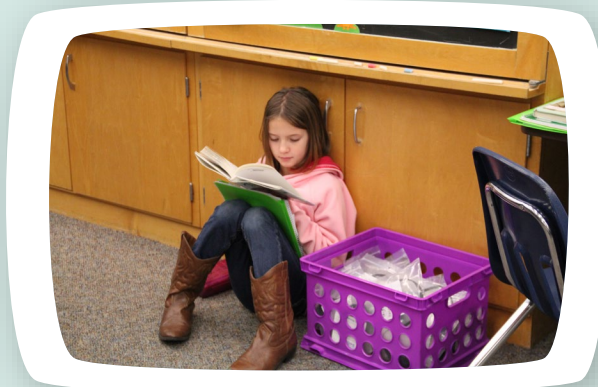
- 多様なすべての学習者に学ぶ機会を提供し、学びのエキスパートに育てるための、柔軟なカリキュラムデザインである。
- 脳科学を中心とした科学的根拠に基づくガイドラインであり、3つの脳ネットワークに対応した3原則で構成されている。
- 学習のゴールを明確にし、カリキュラムのバリア（障壁）を見つけ出し、多様なオプションを提供することで対応する。





教室の中の
多様な学習者





One-Size-Fits-All (全員一律) なんて無理！！

カリキュラム（学習の目的、方法、教材、評価）に多様なオプションを用意し、学習者自身が自分に合った学び方を選び、主体的に学ぶ力をつける

取り組みのための多様な方法 を提供しましょう



感情のネットワーク
「なぜ」学ぶのか

提示 (理解) のための多様な方法 を提供しましょう



認知のネットワーク
「何を」学ぶのか

行動と表出のための多様な方法 を提供しましょう



方略のネットワーク
「どのように」学ぶのか

ア
ク
セ
ス
す
る

興味を持つ ためのオプションを提供する (7)

- 個々人の選択や自主性を最適にする (7.1)
- 自分との関連性・価値・真実味を最適にする (7.2)
- 不安要素や気を散らすものを最小限にする (7.3)

知覚する ためのオプションを提供する (1)

- 情報の表し方をカスタマイズする方法を提供する (1.1)
- 聴覚情報を、代替の方法でも提供する (1.2)
- 視覚情報を、代替の方法でも提供する (1.3)

身体動作 ためのオプションを提供する (4)

- 応答様式や学習を進める方法を変える(4.1)
- 教具や支援テクノロジーへのアクセスを最適にする(4.2)

積
み
上
げ
る

努力やがんばりを続ける

ためのオプションを提供する (8)

- 目標や目的を目立たせる(8.1)
- チャレンジのレベルが最適となるよう(課題の)レベルやリソースを変える (8.2)
- 協働と仲間集団を育む (8.3)
- 習熟を助けるフィードバックを増大させる (8.4)

言語, 数式, 記号 ためのオプションを提供する (2)

- 語彙や記号をわかりやすく説明する(2.1)
- 構文や構造をわかりやすく説明する (2.2)
- 文字や数式や記号の読み下し方をサポートする (2.3)
- 別の言語でも理解を促す (2.4)
- 様々なメディアを使って図解する (2.5)

表出やコミュニケーション

ためのオプションを提供する (5)

- コミュニケーションに多様な媒体を使う(5.1)
- 制作や作文に多様なツールを使う(5.2)
- 練習や実践での支援のレベルを段階的に調節して流暢性を伸ばす (5.3)

自
分
の
も
の
に
す
る

自己調整 ためのオプションを提供する (9)

- モチベーションを高める期待や信念を持てるよう促す (9.1)
- 対処のスキルや方略を促進する(9.2)
- 自己評価と内省を伸ばす (9.3)

理解 ためのオプションを提供する (3)

- 背景となる知識を活性化または提供する (3.1)
- パターン, 重要事項, 全体像, 関係を目立たせる (3.2)
- 情報処理, 視覚化, 操作の過程をガイドする (3.3)
- 学習の転移と般化を最大限にする (3.4)

実行機能 ためのオプションを提供する (6)

- 適切な目標を設定できるようガイドする (6.1)
- プランニングと方略の向上を支援する (6.2)
- 情報やリソースのマネジメントを促す (6.3)
- 進捗をモニターする力を高める(6.4)

ゴ
ール

学びのエキスパートとは...

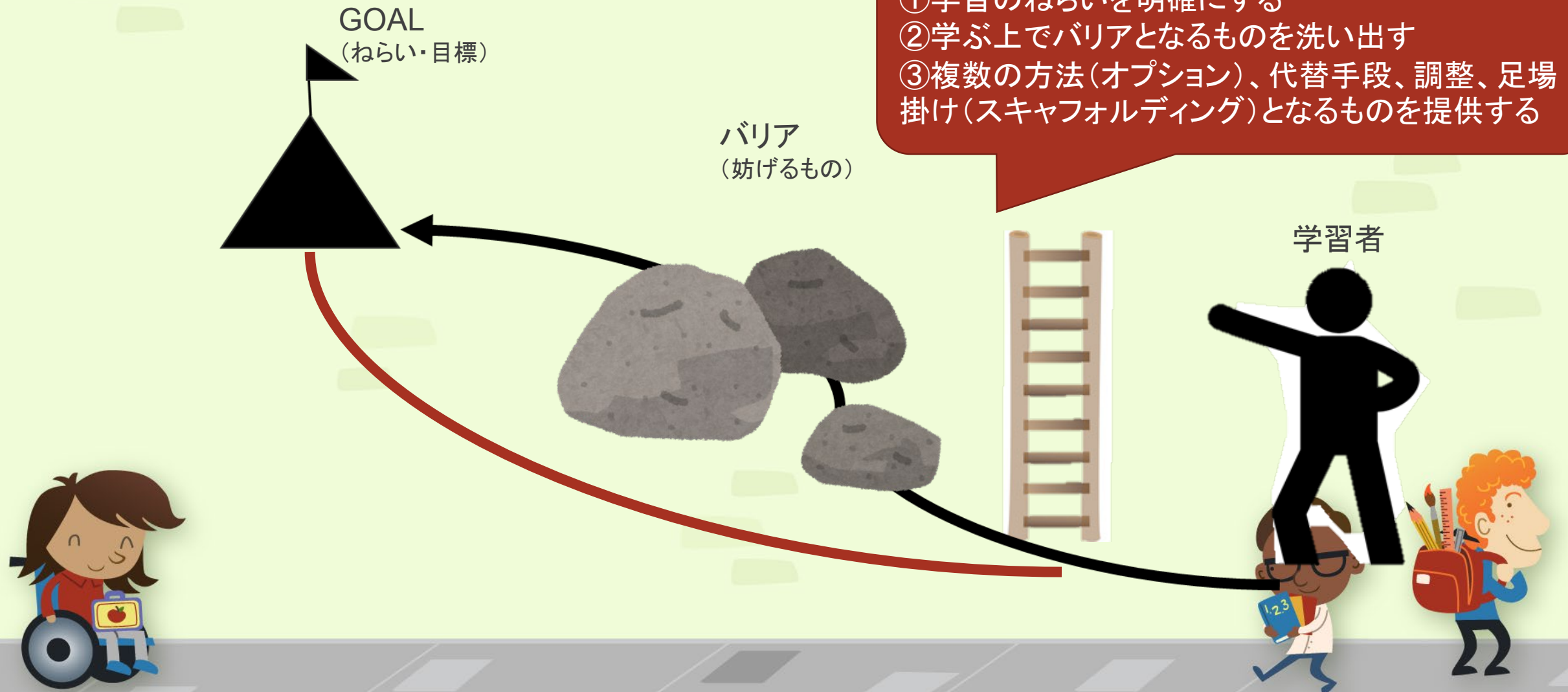
目的を持ち, やる気がある

いろいろな学習リソースや知識を活用できる

方略的で, 目的に向けて学べる



UDLの視点でどのように授業や学習環境をデザインするか



本シンポジウム企画趣旨

- ✓ UDL（学びのユニバーサルデザイン）は何を変えるのか
- ✓ 教師の授業“から”学習者の学び”の支援に転換できるのか？
- ✓ 実践の成果と課題は？

